

分担金・拠出金の名称	ユネスコ(UNESCO)分担金	評価	B
拠出先の国際機関名	国連教育科学文化機関(ユネスコ)		
国際機関の概要	国連教育科学文化機関(ユネスコ)は、教育、科学及び文化を通じて諸国民の間の協力を促進することによって、平和及び安全に貢献することを目的としており、教育、科学、文化等の分野における国際的な知的交流事業や途上国への開発支援事業を実施。現在195の国・地域を擁する機関となっている。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1. (1) 成果目標:ユネスコ分担金への拠出を通じた、我が国の外交政策課題の遂行。 活動指標:ユネスコの活動を通じた我が国の外交政策課題への貢献、我が国とのハイレベルにおける意見交換の実施		ユネスコは、我が国が戦後初めて加盟した国連機関として我が国が伝統的に外交的な観点で重視する国連機関である。ユネスコは、教育、科学及び文化を通じて諸国民の間の協力を促進することによって、平和及び安全に貢献することを目的としている。右分野においてユネスコは国連のリードエージェンシーとして中心的な役割を果たしており、教育分野の活動においては「万人のための教育(EFA)」を推進する他、文化分野でも文化財の保護や世界遺産保護への関与等精力的に活動している。また、ユネスコは我が国との協力を重視しており、一例には教育分野においては日本が主導する「持続可能な教育(ESD)」を推進し、第37回ユネスコ総会において「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム」の採択が達成された。平成26年度にはボコバ事務局長が我が国で開催された「ESD世界会議」に出席し、安倍総理、蓮舫外務大臣政務官と会談した他、平成27年5月には中根外務大臣政務官がユネスコ本部にて、ボコバ事務局長と意見交換する等我が国との一層の連携強化に努めている。	
(2) 成果目標:ユネスコにおける我が国の発言力・影響力を確保する。 活動指標:執行理事会の議席確保		我が国は、ユネスコの事業・予算をはじめとする主要政策の検討・実施を審議する執行委員会委員国の議席を1952年以来確保しており、加盟国の中でも大きな影響力を保持している。加えて我が国は、現在実質最大の分担金貢献国として、相当の発言力を確保しており、予算策定時にはジュネーブグループの一員として、大きなプレゼンスを持つ。	
(3) 成果目標:ユネスコ専門分野等における影響力、効率的な組織・財政マネジメントの実現 活動指標:ユネスコ専門分野等における我が国の参画、組織運営の改善		ユネスコは、教育、科学、文化、コミュニケーションの分野で国連のリードエージェンシーとして中心的役割を担う。我が国は、中でも教育分野において、「持続可能な教育(ESD)」について牽引してきた他、「万人のための教育(EFA)」を議論する場に邦人専門家を送り込む等積極的に意思決定に参画し、同分野を主導。また、ユネスコは松浦前事務局長の改革路線を引き継ぐボコバ事務局長のリーダーシップの下、諸改革に取り組み大幅な組織再編により経費削減を実現し、組織・財政マネジメント強化に努力している。	
(4) 成果目標:我が国人材の知見、専門性を通じた教育、文化等ユネスコ所掌分野への貢献 活動指標:ユネスコにおける邦人職員数の増加、邦人職員増強に向けた取組		邦人職員数(専門職以上)は、平成25年度は53人、平成26年度は48人で推移(なお、ユネスコ職員数(専門職以上)は過去2年で約50人削減)、4.7%以上を維持している。右数にはD1ポスト(ニューデリー所長)が含まれる。また、ユネスコに対しては、我が方日本国政府代表部を通じて、邦人職員の増強に向け、定期的に意見交換や申し入れ等行っており、邦人職員増強に向けた取組を進めている。	
2. PDCAサイクルの確保		①Plan:執行理事会で二か年予算案を策定。総会にて予算案の承認。②Do:我が国の分担金支払。ユネスコによる予算案執行。政府代表部によるユネスコの運営・活動のモニタリング。③Check:内部・外部監査報告書による運営活動の成果を評価。④Act:執行理事会、総会、不定期の関係国協議の場を通じて運営における要改善事項を申し入れ。	
担当課・室名	外務報道官・広報文化組織 国際文化協力室		